



平成 28 年 7 月 28 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731)
問合せ先 取締役 池本 敬太
(TEL 06-6633-3500)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 28 年 9 月期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 28 年 9 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,854	57	45	31	1.57
今回修正予想 (B)	2,036	△343	△398	△438	△17.66
増 減 額 (B-A)	△1,818	△400	△443	△462	
増 減 率 (%)	△47.17	—	—	—	
ご参考：前期実績 (平成 27 年 9 月期)	2,822	△366	△355	△277	△18.57

2. 修正の理由

当社の主力商品である固定回線事業者向けワイヤレスチューナは、後継新機種への仕様変更がずれ込んだため、当初予定していた期中売上げ見込みの 10 億円が来期にずれ込みました。また、現行機種の販売も（新機種の移行に伴い）約 6 億円見込んでいたものが減少しました。その結果、売上げでは 16 億円の減少となり、営業利益では 4 億円が減少する見込みとなりました。

当社ではこの後継機をベースにして、今期開発に注力してきた家庭内の IoT ゲートウェイ機能や 4K や VR コンテンツの表示機能を加えて、来期の基軸の商品とする予定です。

加えてケーブル局向けの STB も、既採用局の追加の納入が思うほど伸びず、結果として 2 億円の売上減となりました。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上